

特集

東日本大震災から3年

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から3年。
市民の安心した生活を取り戻すため、一步一步、復興へ向けて歩んでいます。



『しがま文化大使』の平間至さん

震災が教えてくれた 塩竈を好きだという気持ち

「仮設住宅での春や秋の季節のバーベキュー炊き出しはこれからも続けます」と話すのは震災直後からさまざまな支援活動が続け、私たちに元気と感動を与えてくれている『しがま文化大使』の平間至さん。

地元のお店で食材を買って、地元の若者たちに手伝ってもらって、楽しみに待っていてくれる人たちにまた会いに行きたい。年月が経つにつれ支援する気持ちはあっても、何をどうしたらいいかわからない人もいっぱいいる中で、ふるさとのために行動できることは本当に幸せなことだと思っています。

支えてくれる人がいるから

撮影で知り合った歌手の和田アキ子さんは僕の活動を知って、震災の年の秋から毎月11日の月命日にずっと支援金を振り込んでくれています。それを塩竈での活動に充てさせていただいています。また行動を共にしてくれるドラゴンアッシュのアツシさんと始めた「ガマロック」は外側の人間と内側の人間が本当に信頼し



▲震災直後の4月17日に、たくさんの音楽家を連れてチャリティーコンサートを開催



3.11 POWER of LIFE (ふれあいエスプ塩竈)

あつて作り上げた塩竈色豊かな音楽イベントになりました。
アーティストとの距離の近さや全体的な温かな雰囲気は、お客さんからも出演者からもたいへん高い評価をいただいております。

塩竈の元気でほか被災地を勇気づけたい

あの震災でも塩竈は、中核が機能していました。魚市場の再開も仮設住宅や仮設店舗の建設なども被災地の先駆けとなる部分がたくさんあります。ガマロックやフォトフェスもそうですが、被災地の中で塩竈が先駆けていくことが、ほかの被災地を勇気づけることになるととても嬉しいです。

▲ラジオ局が被災し、その年の
12月までは市役所から放送

ベイウエーブ専務取締役の
横田善光さん

から たら した 災は いは

後 へ ていけ

あの
です

オノマ

東部町内会連絡協議会会長の
日野勝博さん

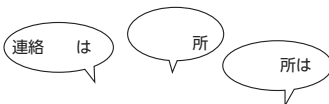
ジで 防災で 開催が 月には 町内会 連絡の 冊が 2011年 3月 25日 本市の 防災の 冊 平

市民安 防災
1日 月
内 2日 1日
3日 月 日

71 に
東日本大震災 生 は

町内会

2年
1月



▲市の防災訓練にも参加